

災害リスク情報の利活用方法検討作業のアプローチ（案）について (概要)

1 資料の位置づけ

- ・データの規格化のターゲットとする「災害リスク情報の利活用像（ユースケース）」について、意見交換をしていただくための手順を記したもの。

2 利活用方法検討の目的

- ・災害リスク情報等の規格化の検討に当たり、規格化された災害リスク情報について、どのような利活用方法が考えられるかを明らかにする。
- ・明らかにされた利活用方法のうち、実現を目指す利活用方法を選定する。
- ・災害リスク情報の規格化作業は、選定された利活用方法の実現を目指して実施する。

3 作業手順案のポイント

- ・災害リスクの分野に限らず、これまで国内で取組まれた、実現を目指す情報の利活用方法を明らかにする取組の作業手順を参考に、主に電子メールを利用して意見交換を進めていく。

- ① 第1回WGにおいて、事務局から構成員の皆さんに、海外の利活用方法の事例等を紹介し、利活用の方法についてイメージを持っていただく。
- ② いつ、誰が、何を目的として、どのような手段で災害リスク情報を利活用するか、といった具体的なアイデアを、アンケートを通じて構成員から出していただく。
- ③ 構成員から出されたアイデアを整理し、類型化する。
- ④ 類型化された利活用方法のうち、実現することの重要性や、技術的な実現可能性、今後の発展性などを検討した上、実現すべき利活用方法を選定する。
- ⑤ 選定した利活用方法の内容をより詳細化し、災害リスク情報の規格化に当たり必要な条件を明らかにする。